



題字は松井岳洋筆

No. 415
平成 24 年 9 月

発行
(公社)日本詩吟学院 認可
碩心会
発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川興藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

出会いと感動

教務部長 小 菅 岳 倅



詩吟を始めて早30年。三歳の息子を連れて教室に入ったのがついこの間のような気がします。当時仕事の関係でご縁のあった方が教室の指導者でした。今思うと国文系が苦手な私にとつて漢詩の世界に入つていったのは不思議な気がします。おそらく先生の人柄や詩吟への情熱に魅かれただと思つています。

最初は先生の後について声を出すので精いっぱいでした。審査を受けるたびに緊張し、年数を重ねるごとに段位の重みと勉強の必要性を感じてやや重荷になっていきました。転機が起きたのは、いろいろな大会への参加やお役を引き受けてからのことです。碩心会主催の大会では他の教室の方との出会いがあり新しい発見がありました。他の大会のお

手伝いもするようになり出会いの機会が一段と多くなり刺激を受けました。実に多くの方があるいろいろな趣味を持つていきいきしていらつしやることに勇気づけられたのです。今では他の会の方々と挨拶を交わすまでになり、出会いの楽しさと感動を味わっています。時には他の会の人から「吟良かったよ」とお褒めの言葉をいただくこともあります。他の趣味の会で詩吟の紹介をする機会も増えました。若い頃は年寄りみていて詩吟を習っていると見えませんでした。しかし、今では、奥が深く健康にとても良いこと、出会いの機会が多いこと等積極的に紹介しています。いろいろな出会いと感動が楽しい毎日を送る原動力になつていると実感しているからです。

碩心会も入会当時に比べだいぶ様変わりしてきました。早い時期から大会に出席したりお役を引き受けたりしてほしいです。人との出会いと感動が若さを保ち健康維持に役立つと思えます。好奇心を大切に、素晴らしい先輩方のように人生を送りたいものです。

行事予定

相州岳風連合吟道講座

日時 9月23日(日) 開会10時

場所 横須賀ウエルシティ市民プラザ2階

碩心会秋季昇任段審査会

日時 9月29日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

尚齒会神奈川吟詠大会

日時 10月3日(水) 開会10時

場所 神奈川公会堂

詩吟体験教室 **Let's SHIGIN!**

日時 10月14日(日) 午後1時～3時

場所 逗子市民交流センター

碩心会 歩こう会

日時 10月17日(水) 桜山古墳群～蘆花公園

集合場所 葉山葉桜バス停 午前10時

鎌倉市詩吟詩舞連盟秋季大会

日時 10月21日(日) 開会10時

場所 レイ・ウエル鎌倉

碩心会 吟詠と詩舞の集い

日時 10月27日(土) 開会10時10分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

逗子市文化祭詩吟詩舞発表大会

日時 11月4日(日) 開会10時

場所 逗子なぎさホール

昇伝段位認許

(平成24年7月1日付)

皆伝

117小暮洋岳

九段

106河田好岳

107田口綾岳

108森田祐岳

109大江晴岳

十段

84坂本神岳

88渡辺香岳

89中村紫岳

総伝

62石井岳虹

64海津岳祥

226矢嶋岳晃

夏季吟道講座に青春を見た

紫陽花支部 中山辰泉

30分前に着いた時には満員状態、これにはビックリ。しかもベテランの方が多く又驚きでした。吟歴の高い人達がなんでこんなに早く?この熱気は何!の感でした。

カリキュラムを見ると会長先生、副会長先生、顧問先生と超ビッグな講師陣!いっぺんに緊張が体を駆け回る思いでした。

今年は教務部の方々による吟題やボイストレーニング等例年と違う工夫、配慮がある、この講座を糧にして精進して欲しい旨の会長挨拶から講座はスタート。

「漢詩」「和歌」「近代詩」吟歴のない小生

神静地区師範吟詠大会

8月5日(日)、小田原市民会館で標記大会が開催され千百名の会場が満杯の盛況でした。本会是指導者の向上を図るため出吟者は指導者に限定して行われました。

午前は準師範による吟詠があり小生も「訣別」で出吟しました。情感がやや不十分であつたことは残念ですが、出吟を機に練習を重ねた努力が大切と自らを慰めています。準師範の部の吟詠は一部に情感・迫力不足を感じました。

午後からの主催者挨拶では、詩吟は日本古来の伝統文化で、正しい吟の詩歌を通じて吟には難しいものでしたが、先生方は一様に素読、詩の意味、作者や歴史を強調されたようでした。そして格調高い朗々たる吟詠とコメント。これこそを学ばんとこの思いから吟歴の高い方々が早々と集まった所以かと納得。集まった皆さんの情熱は、サミュエル・ウルマンの「青春とは心の様相、求めて止まぬ探究心、人生への歓喜と興味」云々。

生徒の皆さんは「自分の声で詩を如何に表現するか」を求めて錬磨、挑戦をしている、これこそ「青春」の思いでした。この感銘を多くの友人に伝えたいと思う帰路でした。

の楽しさ、素晴らしさを知って頂きたい。昨年の11月から公益社団法人日本詩吟学院となることで、特に指導者は人格の向上、吟技の研鑽、地域社会の文化発展に貢献できるよう力を注いでもらいたい旨がありました。

午後の吟詠は師範・正師範・上席師範の各部に分れて吟ぜられました。特に正師範の部では、情感・声量・発音共に素晴らしく感動を受けた吟もありました。また、高齢の方でも一部に詩情・凛とした迫力があり心打つものもあつて、今後における精進努力向上の必要性を痛感しました。

続いて和歌研修会が総本部詩歌研究部長田邊岳璋先生からあり、吟詠教本和歌編における和歌の二句切れについて、作者の思い、詩の意味を考え、学者の意見を考慮して今回取り入れた旨があり、例題2題について全員で合吟練習しました。高見

お知らせ

新教本に基づく「吟題検索シート」が完成し、ホームページに掲載致しました。より一層の吟詠上達を目指して有効に活用して下さい。

広報部

相州岳風連合吟詠大会

8月26日(日)、葉山町福祉文化会館に於いて第5回標記大会が開催された。

午前の部は年齢別吟詠コンクール。連日の猛暑も節電でホールの冷房は抑え気味。舞台裏に出を待つ吟者は、この日を目指して練習を重ねた吟技の発表とあつて緊張の面持ち、対する会場も熱気に包まれている。開始に先立って、村島大会会長から日本詩吟学院が頒布した「吟道奥義抄」に基づく吟詠上の注意点を述べられた。吟道は礼に始まり礼に終わる、吟法は二句三息の息継ぎ、吟詠時間、吟じ起こしのタイミングなど、初心者には、この基本的な修得が中々難しい。

午後の部に入り、「少年少女」の元氣一杯な吟声に微笑む。「会員吟詠」の雪・月・花・酒シリーズの合吟は迫力充分。このあと連吟、優美な詩舞と続き、「来賓・役員吟詠」の诗情豊かな朗吟に至って満席が酔う。コンクールの結果発表。傾心会の入賞者は3名。私自身省みて、練習が結果に結びつかなかった吟力の未熟を痛感した。

会長の講評―吟者と聞き手が一体となりマナーも良く、素晴らしい大会となった。相州岳風連合の4団体が相携え、幅広く、楽しく、競い合つて行きましよう。

常盤

「九段」を受審して

幸和支部 田口綾 岳

山並みや野辺に咲く草花に春の到来が感じられる3月18日、葉山町福祉文化会館大会議室で春季審査会が行なわれました。皆伝受審後ホツとしていたのもつかの間、あつという間に三年が経ち九段受審となりました。

十分お稽古を重ねてきたつもりでも、当日は朝から何となく落ち着きません。早目に家を出て審査会場へと向かいました。葉山小学校バス停で降り、坂道を登っていく時から緊張感が増し、会場に入り自分の出番が近づくごとに、ドキドキと心臓の鼓動がだんだん大きくなってきます。自分でできることはやってきたのだ、大丈夫、平常心になるのだと自分の心に言い聞かせても、いうことをきいてくれません。

いよいよ自分の番となり、マイクに向かい必死に吟じました。夢中でした。「詩文を見て吟じてもいいですよ」「書取りはパスしても結構です」と言われておりましたが、自分の気持を奮い立たせ、何とか覚えようと繰り返し稽古してきました。吟じ終えた後の脱力感、その後には吟じ上げることができた満足感もちよっぴり感じることができました。

今後は独吟でも合吟でもどんな舞台でも、

自分の詩吟ができるように度胸をつけていきたいと思えます。めぐりあうことができた詩吟という良き趣味、そして仲間と共に、一年でも一日でも長く健康で吟の道を精進していきたいと思えます。

風の如く自由に

東伏見支部 田邊 隨 風

此の度、先生の良きご指導と吟友諸兄の温かいご支援に依り奥伝を拝受し、雅号を大乗仏教の最高経典である法華経の「隨喜功德品」より一字拝借して「隨風」とした。「隨」とは「従つて」又は「自由に」という意味で「己の煩惱からの心の自由」を念願して付けた。最終目標を「皆伝」とすると未だ道半ばで、今後は自分の余命との競争ともなる。

さて、中国との商取引では酒宴が付きもので、調子良く「乾杯」を重ねると最後は前後不覚となりベッドに担ぎ込まれる羽目となるので毎度5回の乾杯で盃を置き「隨意」(後には皆様で自由)と宣言して難を逃れた。中国側は酒量に若干の制約感を持つのか不評で「また隨意さんが来た」と酒宴への出席は必ずしも歓迎されず、遂には「隨意さん」という名譽ある(?)綽名を頂戴したが、これが商売にどれ程影響出たか私は知らない。

支部紹介

唐木山教場紹介

唐木山支部 廣 瀬 岳 唐

幼稚園時代から吟の稽古を始めた二人の孫優作と直樹、当初は熱心に稽古を続け吟も上達し優作は近くの老人ホームに出かけ、お年寄りに吟を披露してとても喜ばれ、直樹は小学校六年生の時、朝会のと詩吟、俳句を発表し大うけして先生からも大変褒められ、国語の時間に取り入れられた事もありません。

皆さんから大変可愛がって頂き成長した二人ですが、早いもので十余年の月日が過ぎ今では優作が高校二年生となり部活に熱中、弟の直樹は高校受験に頭を悩ませて居り、吟の稽古の時間がなくなってしまうのでもう少し先になって余裕が出来たら再開する事となりました。会員3名の小支部ですが、頑張ります。



詩吟と私

渚支部 加藤 茗 泉

私が詩吟と出会ったのは小学校三年の時、先生から「山川草木……」と乃木大将の詩吟を教わりました。正に、大東亜戦争真っ最中でした。戦い終り「国破れて山河在り……」と杜甫の詩を、旧制中学一年時、漢文の授業で暗記させられました。従って、老いても未だ口をついて出ます。

定年後、或る公民館より詩吟を漏れ聞くと小三時代の先生の「両手を腹のベルトに入れ腹に力を入れよ」の音が蘇り、胸を打たれてそれが詩吟を始めるきつ掛けとなりました。

雅号の由来

滝の坂支部 湯 浅 杏 風

私は毎年開花を心待ちにしている花木があります。それは杏です。桜より濃い目のみずみずしいピンクの花が大好きです。

初めて雅号を頂く時、本名の“和”では何人かの方とダブってしまうのでは？と思索しておりました時、今は亡き乙津岳岳さんが参考にと五個の字を教えて下さり、その中に杏がありました。毎年、杏の花を見る度に乙津さんを思い出しております。

“みんな”で増やそう新会員

会員のうごき

- *入会 (8月1日付)
 - 197 山田眞佐子 (幸和)
 - 横浜市保土ヶ谷区権太坂1-26
 - ☎ 045-715-6590 紹介者 大江晴岳
- *入会 (9月1日付)
 - 198 馬場奎子 (篁風)
 - 藤沢市善行7-8-4
 - ☎ 0466-82-1164 紹介者 高見陽岳
- *退会
 - 232 長谷川嘉弘 (滝の坂)
 - 150 飯島知山 (真名瀬)

編集後記

ロンドン五輪も過去最多38個のメダルを獲得し閉幕しました。家族、仲間、応援してくれている人達の為に頑張ったという発言に感動、この五輪は大震災の記憶と結びつき語り継がれていくことでしょう。

詩吟を通して自己を磨き一歩一歩しっかりと進んでいきましよう。 広報部

24年9月1日現在	会 員 数
葉 山 地 区	9 7 名
逗 子 地 区	1 0 1 名
合 計	1 9 8 名